

# スマイル ニュース

SMILE NEWS

# 230

男女共同参画推進委員会

## トイレの面積は平等？

高速道路のサービスエリアやイベントなどのトイレで、男性用トイレは空いているが、女性用トイレは長い列が出来ている。長年続いている光景である。面積は男女平等に取ってあることが多いそうだが、女性は個室のため、面積が大きく個数は取れない。さらに、女性のトイレの滞在時間は、男性の約3倍だそうだ。そういったことを考えると、行列が出来るのは当然のことのように思う。こうした状況を踏まえ、政府は経済財政運営の指針である「骨太の方針」に女性用トイレの行列解消などを明記したそうだ。

また、災害時の避難所運営に関する運営基準には、災害発生当初は避難者約50人に1基がトイレの個数の目標とされているが、共同通信社が全国の市町村を対象に避難所の準備状況を聞いたアンケートによると、49%の自治体がトイレ数についての目標に達していないと回答している。さらに、女性用は男性用の3倍個数を用意することが理想とされている。

トイレ問題は、大規模災害が発生する度に起きている。能登半島地震では、断水により水洗トイレが使えず、仮設トイレの便器は汚物で溢れていたという。非常時は平時の社会の課題が顕著に表れる。普段から男女格差の改善に努め、誰もが安心安全に活用できるトイレの設置が求められているのではないのでしょうか。



【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会  
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117